

## 第2回村山 IS (インキュベーション研究) 研究会プログラム

(2016年2月2日火曜日~2月4日木曜日)

香川大学 村山 聡

【日時】2016年2月2日(火)午後1時より2月4日(木)午後12時まで

【場所】総合地球環境学研究所(京都)「セミナー室1・2」

【趣旨】村山 IS 研究プロジェクトは、総合地球環境学研究所において、2015年度より「近世と前近代におけるヒトと自然の分岐を解明する数理地理モデリング」と題した研究プロジェクトとして出発しました。その後、第1回村山 IS 研究会(2015年7月25日)、さらに京都で開催された第17回世界経済史会議を機に、イタリア、スイス、スロベニアの研究グループとワークショップを2回(2015年8月4日、6日)開催し、さらに第1回巡検・ワークショップ(2015年8月14-15日)および第2回巡検・ワークショップ(2015年12月22-23日)と研究会を重ねてきました。

これらの研究会での研究成果を受けて、Living Spaces and the Population: Local Narratives, Regional Clusters, and Communal Movements (「どこにすむ? - 言語・つながり・自主」)と研究タイトルを改題し、略称として、「Living Spaces Project」(「どこにすむ?」プロジェクト)を掲げ、新たな模索を続けています。

そこで、2月2日から4日にかけて、総合地球環境学研究所で、第2回村山 IS 研究会を開催致します。「Living Spaces Project」と題したこの研究プロジェクトの今後の展開に関して、Group A: ナラティブチェック研究、Group B: 生態経済経営史・アクションリサーチ、Group C: 数理地理モデリング・地誌研究の三つのグループから報告・話題提供をして頂くワークショップを開催する予定です。プロジェクトの趣旨やタイトルの検討を含めて、研究グループの構成ならびに今後の研究計画に関する取りまとめを行う予定にしております。

- ◆ 2月2日火曜日、午後1時から午後5時:  
「Living Spaces Project」について  
報告・話題提供: 村山聡(香川大学)、寺尾徹(香川大学)、田中文裕(里海づくり研究会)、中村治(大阪府立大学)、山本哲(京都府京都土木事務所)、渡辺和之(立命館大学)
  - ◆ 2月3日水曜日、午前9時から午後12時:  
「数理地理モデリング・地誌研究」  
報告・話題提供: 青木高明(香川大学)、藤原直哉(東京大学)、和田崇之(長崎大学)、溝口常俊(名古屋大学)、東昇(京都府立大学)、山田道夫(京都大学)
  - ◆ 2月3日水曜日、午後1時から午後6時:  
「生態経済経営史・アクションリサーチ/ナラティブチェック研究」  
報告・話題提供: 渡邊裕一(日本学術振興会)、島西智輝(東洋大学)、野間万里子(京都大学)、藤原辰史(京都大学)、竹本太郎(東京大学)、上杉和央(京都府立大学)、中村博子(香川大学)、瀬戸口明久(京都大学)
  - ◆ 2月4日木曜日、午前9時から午後12時: 総合討論(研究プロジェクト全体についての討議をします。どうぞ奮ってご参加ください。)
- 懇親会は、2月2日午後6時から午後8時、「芹生」(左京区下鴨西半木町82: 075-721-5846)を予定しています。